

報恩講 (ほうおんこう) = 親鸞さまのご法事

おもな**莊嚴** (しょうごん) = おかざり

- 1, **花 (華)** 松 (常盤木) ⇒ 変わらないから
- 2, **お供え** 小餅 ⇒ (米)
- 3, **精進料理** お斎 (とき) ⇒ 正午にいただくから

【七品】

- | | |
|-----------|------------------------------|
| ①ダイコン | 雪の白さ |
| ②ニンジン | 親鸞さまの足から出た血の赤さ |
| ③厚揚げ | 袈裟 (けさ) = 黄袈裟を表す → 代用は平コンニャク |
| ④カンピョウ | お経 (たて糸) → ヒモ状に |
| ⑤しいたけ | 笠 (かさ) → 一番上にしいたけを置く |
| ⑥ごぼう | 杖 (つえ) |
| ⑦こいも (里芋) | 石枕 |

※⑦は北海道はとれない 代用品にジャガイモ

上記は、数百年来の浄土真宗独自の習慣 (ならわし) であり、
親鸞さまは、阿弥陀如来が真実の働きを「念仏一つ」によって私たちは救われ
るとご教示くださった。

そのことに対するよろこびを、後世の人たちがご恩に報いるために、たしなみ
(救いの条件ではない!) として精進料理を法事のときなどに用いてきた。

さらに親鸞さまのご一生におけるご苦勞を、食材を通してまで偲ぶということ
を今日まで行っている。